レッスン：SPA NO.103

テーマ：神（ディバイン）および人間のエレメンタル

SPA/103 KE02/M11/02/3/1

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　前回のレッスンではエーテルの特質について述べ、現在のパーソナリティーがエレメンタルを築くために、エーテルの特質がいかにして使用されるか、について述べました。そうです、エレメンタルを築くためには、エーテルのそれら全ての特質が必要であり、勿論、もし現在のパーソナリティーが潜在的可能性のサイクルから与えられる様々な助けを利用したいと望むなら、それらは非常に重要です。パーソナリティーがある一定のレベルまで潜在意識的ではなくて、意識的にそれらのエーテルを使うことができる必要があります。なぜなら、今でも人間はその現れのレベルが何であれ、エーテルのそれらの特質を使っているからです。

　現在のパーソナリティーは潜在意識的には創造エーテルさえも使用しています。しかし目的はそれらの特質をマスターするレベルに到達することです。それによってサイクルにおける助けを利用することです。

　ですから、私たちはエレメンタルを創造し、現在のパーソナリティーは無数のエレメンタルを生み出していますが、それらのエレメンタルを主として2つに分類することができます…願望想念型、そして想念願望型です。想念願望型は現在のパーソナリティーが正しい思考を行うようになると、現在のパーソナリティーによって創造されます。そのとき初めて現在のパーソナリティーは想念願望型のエレメンタルを創造するようになります。しかし勿論、2番目のサイクルにいる間、現在のパーソナリティーは無数の願望想念のエレメンタルを生み出しています。

しかし、願望のスパークなしに想念願望を築くことができるのでしょうか？答えは、想念の流れなしには願望を抱くことはできませんが、想念の動きが最小になるのです。なぜなら、想念が願望によってコントロールされるからです。なぜなら、現在のパーソナリティーが無知のステートにいる間は、想念は頭のセンターから表現されてはいないからです。

実際、想念のセンターは願望のセンターと同じセンターに根ざしているのです。

ですから無数の願望想念のエレメンタルがあります。これらのエレメンタルは現在のパーソナリティーが目覚めている時にのみ創造されるのでしょうか、それとも眠っている時にもそれらのエレメンタルを創造しているのでしょうか？そしてそれらのエレメンタルは現在のパーソナリティーに影響をもたらしているのでしょうか？

　答えはイエスです**。眠っている時でもエレメンタルを創造しています**。

**そしてそれらのエレメンタルは現在のパーソナリティーに影響を与えています。な**ぜなら、眠っている時でも私たちは原因・結果の法則の下にあるからです。

**眠っている時に現在のパーソナリティーだけがエレメンタルを創造するだけでなく、眠っている時に他のソースからもエレメンタルが創造されます。**

　他のソースとは何でしょうか？眠っている時にエレメンタルを作る２つのセンターがあります。一つのセンターは現在のパーソナリティーです、なぜなら実存の別のバイブレーション、つまり自分たちが作り出すサイコノエティカル界から自分自身を現すからです。そして他のセンターとは肉体の脳です。脳は現在のパーソナリティーが目覚めている時に脳を使っていますが、その活動が寝ていても続いています。

　なぜでしょうか？なぜなら活動が継続しているからです。もしそうでなかったなら、脳は生きておらず、現在のパーソナリティーは肉体的死という現象と共に肉体から切り離されることでしょう。

　Page2

　それでは脳は何を現しているのでしょうか？思考？勿論それは現在のパーソナリティーが普通に現す思考とは違います。肉体の脳がその時に（＊寝ている時）に現わしているのは潜在意識に貯蔵されているものです。そうです、たくさんの想念形態が表現されます。たくさんのエレメンタルが表現されます、無数のエレメンタルです。しかし、勿論それらのエレメンタルは現在のパーソナリティーに影響を与えません。なぜなら、それらはすでにそこにあるからです。それらはすでに潜在意識のマインドに貯蔵されているものだからであり、新しいものではありません。

　しかし、眠っている時にエレメンタルを作り出す２つのセンターがあります。現在のパーソナリティーが正しい思考を行っている時初めて、現在のパーソナリティーは想念願望のエレメンタルを創造することができる、と述べました。それではこれはいつ起きると思いますか？2番目のサイクル、3番目のサイクル、４番目のサイクルでしょうか？

　正しい思考、想念は現在のパーソナリティーが3番目のサイクルをマスターし、4番目のサイクルに入ろうとする時に初めて可能となります。前に述べたように、そのとき初めて現在のパーソナリティーは火の洗礼という神秘を経験し始めます。つまり、現在のパーソナリティーはいわゆる超意識的意識のセルフエピグノシスを現し始めるのです。そのとき初めて現在のパーソナリティーは正しい思考を現し始め、エゴの様々な側面を取り除くことが可能となるのです。もし現在のパーソナリティーが正しい思考を表現していないなら、この表現、あの表現が正しいということがいかにして認識できるでしょうか？つまり、この現れ、表現はLifeの本質に即していないということがどうしてわかるでしょうか？ですから、正しい思考は現在のパーソナリティーが潜在的可能性の4番目のサイクルに入る時に始まります。

　それでは現在のパーソナリティーは4番目のサイクルにおいて想念願望型のエレメンタルを創造するのでしょうか？勿論そうです。時々は勿論、反対になります；始めは願望想念型のエレメンタルが生み出されます、例えば4番目のサイクルにおける最初の転生においては。しかし創造されるほとんどのエレメンタルは想念願望型になります。そして想念願望型のエレメンタルは天使とみなされるようになります。それらは他の同胞の人間達を助ける天使と見なされます。そして現在のパーソナリティーがそれらのエレメンタルを生み出す間、現在のパーソナリティーは他人を助けるだけでなく自分自身をも助けているのです。なぜでしょうか？なぜなら、現在のパーソナリティーはまだ原因・結果の法則の下に置かれているからです。**何であれ私たちが創造するものは、それを創造した人へと戻ってきます。そして、そうすることによって私たちが創造したエレメンタルは私たちを助け、その結果他の人々にとって助けになるエレメンタルをもっと多く創造できるようになるように、です。これは原因・結果の法則です。**

　ですから、4番目のサイクルでは、現在のパーソナリティーにより多くの潜在的可能性があります。その結果、現在のパーソナリティーが4番目のサイクルをマスターするようになると、5番目のサイクルに入ります。そして前に述べたように、5番目のサイクルは即座に能力を与えます；現在のパーソナリティーが努力する必要はありません。そしてその能力とは同調です。

　同調のステートにいる現在のパーソナリティーはエレメンタルを創造するのでしょうか？自己実現した現在のパーソナリティー、あるいはアークエンジェルのオーダーにいるアークエンジェルはエレメンタルを創造するでしょうか？どう思いますか？私たちがアークエンジェル的ヒポスタシス（＊状態）を現しているときに、エレメンタルを創造するでしょうか？説明したように、エレメンタルは想念の動きの結果として創造され、そして想念、思考とは二元性の結果に過ぎません。

　同調のステートにいるとき、私たちは二元性を現しているのでしょうか？どう思いますか？私たちは全てのサイクルにおいてエレメンタルを創造しています、4番目のサイクルにおいてさえも；これらすべてのサイクルにおいて無数の転生を重ね、また各サイクルでもたくさんの転生を繰り返しています。転生の回数が最小なのはどのサイクルでしょうか？4番目です。なぜなら、なんであれ私たちが創造した、現したものものからの助けがあるからです。

Page3

　さて、それでは自己実現のステートにいる間、エレメンタルを創造するのかという質問に戻りましょう。つまり私たちは創造エーテルを使うのでしょうか？自己実現した現在のパーソナリティーとしてのアークエンジェルであれ、またはアークエンジェルのオーダーに属するアークエンジェルであれ、アークエンジェルにとってエーテルの特質を使用する必要があるのでしょうか？創造界はどのようにして創造されたのでしょうか；様々な宇宙はどのようにして創造されたのでしょうか？エーテルの特質を使用してでしょうか？思考を使ってでしょうか？創造エーテルを使用してでしょうか？Lifeはそれ自身のなかに創造するために、エーテルのそれらの特質を必要とするのでしょうか？答えはノーです。

　アークエンジェルは宇宙をどのようにして築くのでしょうか？創造的な思考でしょうか？そこでは私たちは想念、思考を現しません。神の黙想、そうです、全ては神の黙想のなかにあります。全てと言う時、創造の諸世界にある全てです。そして現れは神の黙想の結果です；しかし、何かを創造するモナドセルフは彼（このステートには性別はありません）の結果です。それは神のブレーシス(意志）、そして個人の結果でさえあります。

　ですから、それはLifeの本質の結果です。私たちは思考を表現せず、私たちの聖なる神のブレーシス（＊神の意志）を現します。そして私たちは助けるためにエンジェルを生み出します。それらのエンジェルは超意識的に創造されるのではなく、超意識的意識によるものでもなく、Lifeの本質から創造されるものです；神の聖なるブレーシスの結果として生じるものについて言葉で描写することはできません。

　ですから、創造し、エレメンタルを築くLifeがあります、そして勿論それらのエレメンタルのバイブレーションのレベルは様々です。レベルという時それはマインドの様々なバイブレーションを意味します。

私たちは例えばサイコノエティカル界で助けるためにエレメンタルを創造することができます；サイコノエティカル界の様々なレベル、そして亜レベルにおいて。しかしまた物質界でも私たちはエレメンタルを創造することができます。そして勿論、自己実現した現在のパーソナリティーまたはいかなる他のアークエンジェルであれ、それをするためには神の聖なる理由がなければなりません。単なる好奇心のために、単なる現象のためにではなく、唯一奉仕するために、特定の惑星の人類を益するために、または他の惑星の同胞の人間たちを益するために・

　ですから、エンジェルと見なされるレベルのエレメンタルを創造することのできるLifeがあります。それでは、何であれアークエンジェルが創造するものはプログラムされたセルフエピグノシスの結果であることを、明確に理解しましょう。彼らはそれ以外のものは何も創造しません。彼らには彼らのセルフエピグノシスによって特定されたもの以上のものを創造するという自由なブレーシスはありません。しかし、だからといって私たちの兄弟であるアークエンジェルたちが魂のセルフエピグノシスとしての私たちの内なるセルフよりも劣っている、ということではありません。

　実際、アークエンジェルはアウタルキーを離れたことは一度もありません。彼らは継続的に最内奥のセルフと結びついています。しかし彼らは何であれ神の黙想が述べることを行っています。勿論自己実現した現在のパーソナリティーもまた私たちの兄弟であるアークエンジェルが創造することを創造することができますが、そこには一つ違いがあります。何であれアークエンジェルが創造することは永遠であり、ずっと活性化した状態に留まります。しかし、自己実現した現在のパーソナリティーが創造するものは、特定の目的だけのためにあり、その後はエネルギーが失われ、不活性となります。これがアークエンジェルによる創造と自己実現した現在のパーソナリティーによる創造との主な違いです。私たちには様々な潜在的可能性のサイクルにいる間に行うことがたくさんあります。

Q：自己実現した現在のパーソナリティーが創造するものには目的があり、後にはエネルギーが失われると言いましたが、しかしそれは潜在意識のマインドには残るのではないのですか？

K：そうです。それは汎宇宙的潜在意識のマインドには留まりますが、しかし非活性化します。

Q：例えば、ヒーリングのためにエレメンタルを創造し、その目的が達成された後、それは非活性化されるということですか？

　Page4

K：それはその創造の背後にある意味によります。いつかそれは非活性化されるでしょう、特にその現在のパーソナリティーが亡くなって、サイコノエティカル界にしばらくの間留まる場合は。その後また新しい現在のパーソナリティーとなります。亡くなった現在のパーソナリティーは、亡くなった現在のパーソナリティーとしてはいかなる助けも必要としません。新しい現在のパーソナリティー、新しい転生は新しい転生であり、それは何か他のものを必要とします。

Ｑ：はい、しかしそれはその生涯の間は活性化された状態で留まるのですね。

Ｋ：勿論です。さて創造エーテルについて述べましたが、それは実際に思考、想念の結果です。そして想念、思考は同調のステートにいる間は現わされません。つまり、創造エーテルは現在のパーソナリティーが二元性のステートにいる間だけのものです。対立する二元、バランスのステートにある間だけです。

　ですから、創造エーテルを使って現在のパーソナリティーは何をするのでしょうか？なぜならば、アークエンジェルが創造するものは創造エーテルの結果ではありません。それはエーテルの様々な特質を利用した結果ではありません。何であれ私たちが創造エーテルを使って創造する時、私たちは潜在意識的に行っています；私たちが実際行っていることは何であれ、アークエンジェルが創造したものに関して創造しています。例えば、私たちはアークエンジェルが私たちのために創造したものの外見を変えます。そして何であれ私たちが創造するものは、リアルなものではありません。それは思考・行動の仕方の結果である何かです。例えば私たちは地球のレベルの外見を変えています。それは実際に創造エーテルが行っていることです。私たちは外見を変え、サイコノエティカル界にいる間に自分自身の環境を変えています；私たちは自分自身の環境、つまり自分自身の世界を創造します。それは勿論、Lifeの本質の結果として築かれて目の前にあるものではありません。

Q：何かリアルでないものを築く目的は何ですか？

K：Lifeそれ自体に関しては、それはリアルではありません。しかし私たちに経験をもたらすという意味ではそれは助けになります。それによって原因・結果の法則を体験するというプロセスにある現在のパーソナリティーとしてのモナドセルフによって、個人というものが現わされるのです。

Q：そしてその後は、段階は同調になり、アークエンジェルのビジョンと同一になるのですか？

K：既にアークエンジェルによって築かれたものを変える必要はないでしょう。アークエンジェル達によって築かれたこの創造界の真の素晴らしさをどれほど多くの人々が認識できるでしょうか？私たちは自分たちの理解その他に従って全てを変えていますが、私たちの周囲に提供されている自然の美しさに気づいていません。

　現在のパーソナリティーが4番目のサイクルに入ると、勿論5つの真の感覚を超意識的に現すようになります。美とはLifeそれ自体であり、それは他のものと比較できません。

　時には、動物たちがお互いに殺し合いますが、それはアークエンジェルがエコロジーのバランスのために創造したものです。サバイバルのために何かを使用するのと、破壊のために何かを破壊するのとは同じではありません。

Q：あなたは3番目のサイクルから想念願望型のエレメンタルを作り始めると言いました。この段階は不定形の諸体の再形成の段階と一致しますか？想念願望型のエレメンタルを創造し始める時、その時には不定形の諸体が完全に再形成されているのでしょうか？

Ｋ：ノーです。しかし、人間のイデア・フォームによって提供される体から非常に遠く離れた状態ではありません。つまり、再形成された状態にとても近いところにいます。

Ｑ：それは3番目のサイクルの終わりですか、それとも4番目のサイクルですか？

Page5

Ｋ：4番目のサイクルに入る時には、不定形の諸体は非常に近い状態になっています。現在のパーソナリティーを構成する諸センターは完全にそれぞれが分離しています。しかし、勿論、現在のパーソナリティーは不定形の諸体の再形成に向けてやることがたくさんあります。

　5つのサイクルがありますが、2つのサイクルは部屋の中、3つはピラミッドのなかです。勿論、4番目のサイクルの終わりには、自己実現した現在のパーソナリティーが達成されます。

Ｑ：5番目のサイクルの終わりにおいて、まだ同調のステートにいるのでしょうか、それとも他の段階に到達しているのでしょうか？

Ｋ：違います。同調はありません。勿論、5番目のサイクルにおいて何かが起きています；**サイコノエティカル体は完全に高次ノエティカル体の中に吸収されています。そして高次ノエティカル体はスーパーサブスタンスのバイブレーションです。これが5番目のサイクルで生じることです。**

　イデア・フォームがあり、その形はイデアであり、その形には制限は一切ありません。いかなる制限もない物的な体を持ちます。物的なという時、それはスーパーサブスタンスのバイブレーションの体であり、実際いかなる形を取ることも可能です。

Ｑ：しかし、それは肉体ではないのですか？

Ｋ：肉体でもなければ、サイコノエティカル体でもありません。それはいかなる形をも取ることのできる体であり、スーパーサブスタンスの海にそれ自身を広げることができます。そして、勿論そのパーソナリティーはそのステートに留まりません。なぜなら、そのステートに留まるなら、なぜインナーセルフのなかに入らないのでしょう。そして勿論、現在のパーソナリティーは実際そうしないでしょう。もしそのステートだけに留まるなら、シンボルを使うこともないでしょう。シンボルと言う時、それは五芒星、六芒星をも使用しないということです。

　しかし、もし自分自身のステートを下げるなら、そのパーソナリティーは六芒星を使い、時には五芒星をも使用するでしょう。しかし、自己実現した現在のパーソナリティーに属するシンボルは、三角形です。その中に身体全体が含まれる大きな三角形です。大きな三角形を想像してください。その中に身体も六芒星も入っているのです。なぜそのシンボルなのでしょうか？なぜなら、そのシンボルはLifeそれ自体の特質の表現を象徴しているからです。

　しかし、自己実現した惑星でさえも自己実現したステートには留まらないでしょう。その意味は、その惑星上の人間はより低いバイブレーションのなかで奉仕し、そして彼らはシンボルを使います。

Q：5番目のサイクルのパーソナリティーはそのバイブレーションを下げるので、まだ現在のパーソナリティーを持っているのですか？まだ自己実現した現在のパーソナリティーなのですか？

K：その人は自己実現のレベルには留まらないでしょう。留まるためには、自分のためではなく、何か聖なる理由が必要です。他人のためにはそうするかもしれませんが、自分のためにそうすることは決してありません。原因・結果の法則を克服する、または脇に置くために能力・パワーとしてのLifeの本質を使用することはありません。いいですか、彼らはそうすることもできるのですが、でもそうしません。なぜなら、創造の法則に完全に従うからです。そして前にも言いましたが、自己実現した惑星すらもそのステートに留まることはありません。

レッスン　SPA/103 エクササイズ１

目を閉じて静かにすわり、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白の自分自身を見て、自分の形の境界を感じます…あなたは今純白であり、自分の形の境界を感じています、同時にあなたは純白の五芒星のなかで守られています…

　それではあなたの肉体のホワイトブルーの同一体を活性化します、このホワイトブルーの同一体はあなたの真っ白な肉体の中にあります、これら2つの色は互いに混ざり合うことはありません…

　それでは次に､あなたの肉体のホワイトピンクの同一体を活性化します…今実際に3つの色があります…白、ホワイトブルー、ホワイトピンクです…

　それではあなたの肉体の金色の同一体を活性化します…実際に今3つの同一体、そして真っ白なあなたの肉体があります…3つの異なった色、3つの同一体、そして肉体を見ています…それぞれの同一体、あなたの白い肉体は、互いに浸透し合っていますが、色が混じることはありません…実際にあなたが今見ているのは、この物質界でそれ自身を現すためにあなたの肉体を使用している、あなたの現在のパーソナリティーの3つの体です…

　3つの同一体、肉体に入っているあなたの現在のパーソナリティーです…ホワイトピンクと金色の同一体は現在のパーソナリティーとしてのあなたであり、それがホワイトブルーとして示されている肉体を使用しています…そして勿論、ホワイトブルーはまたあなたの肉体の良好な健康状態を示しています、そしてあなた自身の白色は3つの体のダブルエーテリックを示しています、それは実際3つの体と3つのダブルエーテリックが一つになっている白です…しかしダブルエーテリックのバイブレーションは同じです、そして今バイブレーションと言いましたが、それは色です…そして今あなたは3つのダブルエーテリックを別々に見ることができます、そしてそれら3つを一つとして見ます…

　あなたのそれらの体が完全に再形成されて、イデアフォームの元型とマッチすることを願います…五芒星があなたの現在のパーソナリティーを守ってくれることを願いますが、同時に五芒星が不定形の諸体の再形成に向かって引っ張ってくれることを願います、なぜなら、五芒星は同時にイデアフォームの元型をも意味しているからです…あなたを守り、同時に再形成に向けて引っ張っていくという2つの意味を与えます…

　アガピ、そして最愛のお方の祝福があなたと共に、あなたの愛する人々に、あなたの家庭に、そして世界全体と共にあることを願います…

　私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

Q：3番目のサイクルでは、私たちは時々願望想念を現すこともありますか？

K：多くはありませんが現れます。想念願望型のエレメンタルは現在のパーソナリティーが4番目のサイクルにいる時に生み出され、表現されます。パーソナリティーは何であれ価値あることだけを考え、価値ある考えとは勿論現在のパーソナリティーにとって真に益になることを意味します。そして益になるとは、Lifeそれ自体からより多くを現すということに他ならず、現在のパーソナリティーを二元性、バランスの諸世界に留めるものを除去することです。彼らはこの世界で財産、お金その他を得ることには興味を抱いていません。

Q：私たちの趣味も願望想念に含まれるのですか？

K：趣味？いずれにしても多くのレッスンで説明したように、意味は常に変化します。対立する二元、両方のサイドは常に変わり、薄れていきます。

Q：　3番目のサイクル、または2番目のサイクルにおいても人は想念願望を抱くことがあるがその動機は純粋ではない、と言うことができますか？

K：もし動機がそれほど純粋でないなら、それらは想念願望のエレメンタルではありません。いずれにしても、創造エーテルを使うことによって私たちは実際に何であれアークエンジェル達が創造したことの様相を変えている、ということに気づく必要があります；それは物質に関することだけですが。そして勿論、サイコノエティカル界では創造エーテルの最大の役割を使用しています。つまりそこでは自分自身の環境、自分の世界と現れをそこで築いているのです。

SPA103/02/MA/1